



た わ ら こ

田原っ子



れいわ ねん がつ にちはっこう だい ごう がつごう
令和7年3月5日発行 第18号(3月号②)

たわらしょうがっこう こうちよう ひろたに みつてる
田原小学校 校長 広谷 光輝

☆学校教育目標☆

「自ら課題を見つけ、自主的・主体的に取り組むことのできる子ども」

☆校内の合言葉☆ 「ありがとう」と「大丈夫」 ☆スローガン☆ 「認め合い、支え合い、助け合い」

☆5つのキーワード☆

◆あいさつ ◆共感と安心感 ◆感謝 ◆チャレンジ ◆家庭・地域とのつながり

学校自己診断アンケートへのご協力、ありがとうございました！

1月に行いましたアンケートについて集計がまとまりましたので報告させていただきます。WEB形式のアンケートは回答率が30～40%いけばかなり高い方と聞いたことがあるのですが、今回は約60%の回答を得ることができました。ありがとうございました。

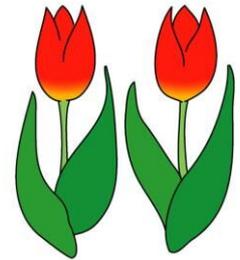
保護者アンケート (回答率 59.6%)

※数字は「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合の合計 (%)

※矢印は昨年度比。上昇したものは↑、3ポイント以上上昇は↑↑、下降したものは↓、3ポイント以上下降は↓↓、

【学校教育に関するアンケート】

- 学校は、お子さまにとって安心して過ごせる楽しい場所となっている。(91%↓)
- 学校は、あいさつする心や相手を思いやる心が育つように指導している。(91%↓)
- 学校は、子どもの安全や事故防止に対して、適切な指導と対応が取れている。(90%↓)
- 先生は、わかりやすい授業をしている。(91%↓)
- 学校は、子どもの人権を尊重した指導を行っている。(88%↓↓)
- 学校は、いじめについて情報収集や対応及び未然防止など適切に取り組んでいる。(81%↓)
- 学校は、お子さまのことについて、適切に相談に応じている。(85%↓)
- 学校は、学校の様子を通信等で積極的に情報発信を行っている。(85%↓↓)
- 学習参観の内容は、適切である。(87%↓)
- 通知票は、お子さまの学力や達成度を適切に評価できるよう工夫されている。(79%↓)
- 学校の施設・設備は、学習環境面において整っている。(83%↓↓)
- 学校は、子どもたちが安心して過ごせるような工夫や取組みを行っている。(89%↓↓)
- 学校は、苦手なことやできないことにもチャレンジできるようお子さまに寄り添った指導をしている。(75%↓)
- 学校は、タブレットPCなどICT機器の活用を積極的に行っている。(77%↑)
- 学校は、タブレットPC等の使用に関して、情報モラル教育を積極的に行っている。(74%↓)
- 学校は、中学校や地域、PTAと連携した取組みを行っている。(83%↓↓)



【学力に関する内容】

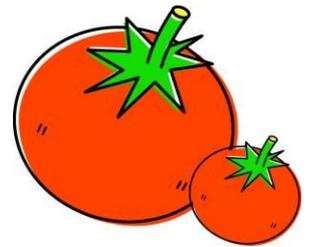
- ・ご家庭で、お子さまの宿題や自主学習について確認や点検をされていますか。(70%↑↑)
- ・お子さまは、平日(月～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、学習に取り組んでいますか？(新規)
(3時間以上1% 2時間以上3時間未満5% 1時間以上2時間未満14% 30分以上1時間未満49% 30分未満28% 全くしない3%)
- ・ご家庭で、お子さまを含めて読書することを意識されていますか。(31%↓↓)
- ・お子さまは、自分で計画を立てて学習していますか。(36%↓↓)
- ・お子さまは、家族との約束や社会的なルールなどを守っていると思いますか。(91%↑)
- ・お子さまは、放課後や休日などに外で遊んだりして体を動かしていますか。(69%↑↑)
- ・保護者の皆様は、放課後や休日を利用して、お子さまと体を動かすことはありますか。(49%↑↑)
- ・お子さまは、給食や食事を楽しみにしていますか。(80%↓↓)

学校教育に関するアンケートではおおむね80%以上の回答を得ることができ、一定の評価いただけているとは思いますが、わずかではあります。多くの項目で昨年度より数値が下がっていることは、来年度への反省材料としたいと思っております。特に、タブレットに関する項目に関しては80%の回答が得られておらず、改善策を考えていきたいと思っております。

学力に関するアンケートでは、気になるのが家庭学習時間の短さでした。この項目は子どもたちのアンケート結果でも30%前後の児童が30分未満の学習時間と回答しており、保護者の方にお聞きしても同じぐらいの割合を示したことから、信ぴょう性が高まったと感じております。宿題を含めた学習時間が30分未満であるのは来年度改善すべき大きな課題であると認識しております。これに関してはご家庭のご協力も大きく必要とされます。よろしく願いいたします。

児童アンケート 4～6年生に実施

- ・学校は安心して過ごせる楽しい場所である。(89%↑↑)
- ・あいさつすることや相手を思いやることをがんばっている。(86%↑)
- ・通知票はわかりやすい。(90%↓)
- ・先生は、いじめはいけないうことだということや間違った行動にきちんと指導してくれる。(96%↑↑)
- ・先生は、困ったとき相談にのってくれる。(88%↑↑)
- ・地震や火災や大雨のときなど、どのように行動するとよいか知っている。(97%↓)
- ・自分が苦手なことやできないことにもチャレンジするようがんばっている。(77%↑)
- ・給食や食事は好き嫌がなく食べている。(65%↓↓)
- ・田原中学校や地域、外部の方々と学ぶ機会や行事は楽しい。(91%↑)



子どもたちへのアンケート結果についてもおおむね良好であったと考えています。しかもこちらは昨年度より肯定的回答の割合が上がっている項目が多く、下がっている項目も高値を示しており安心しました。

学校は安心して過ごせる場所であるの項目に関してはもっと高い数値になるよう、来年度の取組みとして困ったときに誰かに相談することができるという項目の数値の100%を目標にしたいと考えています。これはもちろん相談相手が先生でもいいのですが、保護者の方、地域の方、こども園の先生、友だちなど誰でもいいので相談できる雰囲気を作りたいと考えています。こちらでもご家庭の協力なしには難しいチャレンジかと思っておりますのでよろしく願いいたします。

課題を挙げるとすれば、チャレンジ精神と、給食の好き嫌いです。失敗することを恐れて無難な選択をすることが今の子どもたちの特徴だとは思いますが、結果を気にせず思い切ってチャレンジできることが子どもたちの特権だと思います。私たち大人が子どもたちのチャレンジを応援してあげる雰囲気を作っていくことが大切ですね。

給食に関しては、給食委員の児童が中心となって残食調査やスプーン一口運動などに積極的に取り組んでくれました。子どもたちからフードロスに関心をもっていただけていることがとてもうれしかったし頼もしかったです。こういった取り組みを応援しながら一緒に問題解決に向けて取り組めたらと考えています。